

平成 29 年度 施策評価表

施策(章)	第 5 章『産業・経済』
-------	--------------

まちづくりの目標5	資源・特性を活かし 産業の活性化やにぎわいの創出を進めます			
分野別計画・指針	所沢農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、所沢市中心市街地活性化基本計画			
予算額	平成29年度当初予算	96,940 百万円中	792 百万円	構成率 0.8 %

- 基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針
- ◆ 所沢の顔としての中心市街地の活性化
 - ◆ 雇用の確保及び創出のための取り組み
 - ◆ 地産地消の推進
 - ◆ 優良農地の保全と農業後継者の育成
 - ◆ 所沢の特性に合った工業の振興

基本構想で掲げた《市の課題・方向性》への取り組み状況に対する振り返り

○平成28年度から2ヵ年事業で、所沢市産業振興ビジョンの策定に取り組んだ。
 ○企業誘致の推進を図るため、企業立地支援制度のチラシやポスターを作製し、PRを各方面に行った。
 ○農商工連携により地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使った地域ブランドづくりを進めた。
 ○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンターの利活用について基本計画の策定並びに既存施設の解体撤去に伴う実施設計に必要な業務委託のための予算化を行った。
 ○市内でのロケを受け入れることにより、メディアの露出機会を増やし、所沢市への愛着誇りを醸成し、まちの個性を生かした地域活性化を図った。
 ○所沢観光大使として、新たに「北勝富士大輝閣」を委嘱するほか、所沢市ゆかりの地酒と地場産食材の普及PR及び市役所別館の所在の周知を目的に「ちよいバル別館」を開催し、観光資源を活用し地域経済の活性化に努めた。
 ○地産地消を推進し、所沢農産物のPRを行うため、新たに「採れたて!農産物直売 とことこ市」を所沢市役所別館前及び所沢まちづくりセンター前元町コミュニティ広場にて実施した。
 ○農業の担い手育成のため、農業後継者協議会や4Hクラブの農産物販売会等の活動を支援した。また、認定農業者の経営改善計画の達成を支援する補助事業として、農業機械や農業施設の導入費用の補助を12件実施した。
 ○優良農地の保全のため、中富農道の境界石埋設及び管理台帳の作成を行った。

基本構想で掲げた《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》の実行にあたって、特に力を入れていくこと。

○平成29年度中に所沢市産業振興ビジョンを策定する。
 ○農商工連携や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業等により、地元農産物等を使った地域ブランドづくりを積極的に進める。
 ○埼玉県と共同でセカンドキャリアセンター所沢事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーと就職相談を引き続き実施し、就労支援事業を進める。
 ○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンターの利活用について基本計画の策定並びに用地の解体撤去の実実施設計を行うとともに、施設整備等について準備を進める。
 ○ロケーションサービス事業を通じて、市内外へ市の魅力を発信していく。
 ○外国人観光客に対するインバウンド対策を意識し、観光案内板等の多言語化を進める。
 ○地産地消の推進を図るため、とことこ市の開催場所や事業参加者等を増やし、規模拡大を支援する。
 ○農業後継者の育成に向けて、農業後継者協議会や4Hクラブ等に対して支援を行うとともに、新規就農者や農地所有適格法人等の農業の担い手に対する補助事業を実施する。
 ○優良農地保全のため、中富農道の維持管理を行う。

評価日	H29.7.25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二
-----	----------	--------	---------------

節	目標指標	単位	(H25)	H28年度	H28年度	H29年度	将来目標
			現状値	実績	目標値	目標値	(H30)
第1節 農業	農地サポート事業の実績	ha	3.4	1.6	2	2	2
	新規就農者数	人	0	3.0	2	2	2
第2節 商業	市内小売業の年間商品販売額	億円	2,574 (H24)	2574	2,574	2,800	2,800
	商店街空き店舗活用実績数	店	3	1	3	3	3
第3節 工業	製造品出荷額	億円	1,499 (H24)	1,628 (H26)	1,800	1,900	2,000
	事業所あたり償却資産課税標準額(機械及び装置)(3か年平均)	千円	13,549	13,249	14,400	14,700	15,000
第4節 観光	商業観光課フェイスブックの閲覧者数	千人	107	267.0	160	180	200
	観光客数	千人	5,739	5,502	6,400	6,700	7,000
第5節 労働・雇用環境	就労チャレンジ支援事業による就職者数	人	175	260	175	175	175
	中小企業退職金共済掛金等補助制度の新規利用事業主数	事業主	16	26	16	16	16

第1節	農業	農業が活性化し、農業者と市民が共栄するまち			
基本方針	5-1-1 生産基盤の整備推進				
	5-1-2 経営基盤の強化				
	5-1-3 農のあるまちづくりの推進				
関係所属	農業振興課、農業委員会事務局				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		684人	29.9%	30位	4位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○平成29年度に所沢市産業振興ビジョンを策定するため、素案の作成、農業事業者(1,204経営体)に対するアンケートや農業団体に対するヒアリングを実施した。</p> <p>○農地の流動化及び集約化を促進するため、「人・農地プラン」を新たに5地区で作成するとともに1地区の見直しを実施した。また、「農地サポート事業」を周知するため、市内農業者に配布する「農委だより」(年2回発行)に事業紹介記事を掲載した。</p> <p>○経営基盤の強化を図るため、農地所有適格法人等に対して農地賃借に係る費用の一部を補助した。また、新規就農者に対しては農地賃借及び農業機械購入に係る費用の一部を補助した。</p> <p>○農のあるまちづくりの推進のため、体験農場利用者ステップアップ事業において、生産農家での本格的な農作業体験等を行い、生産者と消費者の交流を図った。また、地産地消の推進を図るため、新たに「採れたて!農産物直売 とことこ市」を実施した。</p> <p>○新農業委員会制度による農業委員の任命及び農地利用最適化推進委員の委嘱を行った。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○農地サポート事業は、農地の貸し手と借り手との条件が合わなかったため、目標に達しなかった。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○認定農業者や農業後継者等の機械購入に対する補助事業を行う。</p> <p>○とことこ市事業や体験学習型所沢農産物PR事業等のPR活動を実施し、所沢農産物の魅力を多くの市民へ伝え、消費の拡大及び地産地消の推進を図る。また、農業への理解と関心をより深めてもらうため、体験農場推進事業を実施していく。</p> <p>○担い手の育成・確保に努め、関係機関と連携して新規就農者等への支援を行っていく。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○農業者へ充実したサポートを行うため、農地サポート事業の一層の周知を図り、農地の流動化及び集約化を促進する。</p>					
特に力を入れる事務事業	地産地消推進事業	新規就農円滑化推進事業	体験農場推進事業		
評価日	H29.7.25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		
第2節	商業	活力とにぎわいにあふれた魅力ある商店街が身近にあるまち			
基本方針	5-2-1 魅力ある商業の振興				
	5-2-2 経営基盤の強化				
	5-2-3 商業環境の整備				
関係所属	産業振興課、商業観光課				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		722人	31.6%	26位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○商店街の振興を図るため「魅力ある商店街創出支援事業」などの補助金の交付や、中心市街地の活性化を目指し、野老澤町造商店に分担金を交付するほか、「中心市街地にぎわい創出支援事業補助金」を交付するなど中心市街地のにぎわい創出に貢献した。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○商店街空き店舗活用実績は目標値を下回った。相談はあるものの業態や立地が出店者の要件と合わない等により応募に結びつかないことが要因と考えられる。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○「魅力ある商店街創出支援事業」により、商店街のハード及びソフト事業の支援を行い、商店街の振興・発展を図る。</p> <p>○中心市街地のにぎわい創出にむけた事業について「中心市街地にぎわい創出支援事業補助金」を交付し、事業を通じた中心市街地の来街者の増加を目指す。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○商店街空き店舗活用では、県が運用する空き店舗サイトへのリンク張りの周知を図る等、さらなる制度のPRを行う。</p>					
特に力を入れる事務事業	産業振興ビジョン策定事業	魅力ある商店街創出支援事業	旧コンポストセンター跡地利用事業		
評価日	H29.7.25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		

第3節	工業	個性豊かで、競争力のある企業が発展できるまち			
基本方針	5-3-1 生産基盤の整備				
	5-3-2 付加価値向上支援				
	5-3-3 地域に根ざした産業の育成支援				
関係所属	産業振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		527人	23.1%	38位	5位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○産業振興ビジョン策定委員会を開催し、素案の作成、事業者向けアンケートや産業関連団体に対するヒアリング等を実施し、産業振興ビジョンの策定を進めた。</p> <p>○「COOL JAPAN FOREST構想」の市の事務局である経営企画課と連携し構想の実現に協力した。具体的には、(株)KADOKAWAとの建設計画協議を行った。</p> <p>○企業誘致の推進を図るため、立地支援制度のポスターと、チラシを作成し、各方面に積極的にPRした。</p> <p>○農商工連携推進や地域資源活用・ものづくり総合支援補助等により、「所沢しょうゆ焼きそば」などの新商品開発を支援するなど地域ブランドづくりを推進した。</p> <p>○三世代同居リフォーム等に補助金を14件交付し、絆を紡ぐまちづくりを推進するとともに、市内建設関連産業の活性化を図った。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○日本アンテナ(株)の撤退などが影響したものと考えられる。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○三世代同居に伴う住宅改修工事等に補助金を交付し、絆を紡ぐまちづくりを推進するとともに、市内建設関連産業の活性化を図る。</p> <p>○29年度に所沢市産業振興ビジョンを策定する。</p> <p>○「COOL JAPAN FOREST構想」の市の事務局である経営企画課と連携し構想の実現に協力する。</p> <p>○企業誘致の推進を図るため、立地支援制度のPRを各方面に積極的に行う。</p> <p>○農商工連携や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助等により、地元産農産物等を使った地域ブランドづくりを進める。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○(株)KADOKAWAの建設工事や運営まで地元企業を活用するため、「地元企業活用ワーキング」を組成し、地域経済の振興を図っていく。</p>					
特に力を入れる事務事業	産業振興ビジョン策定事業	所沢ブランド特産品創出支援事業	農商工連携推進事業		
評価日	H29.7.25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		

第4節	観光	魅力ある地域の資源を発信し、多くの人々が集うまち			
基本方針	5-4-1 観光情報発信の充実				
	5-4-2 観光資源の整備・活用				
関係所属	商業観光課				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		918人	40.2%	12位	2位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○フェイスブックやところんのツイッターを積極的に活用して情報発信をするとともに、北勝富士閣を所沢市観光大使として委嘱し、所沢市をPRするとともに、ロケーションサービスを積極的に取り組み、前年度以上の成果を上げた。</p> <p>○観光協会会員と連携し、ちよいバル別館を開催し、市内の原材料を使った飲料の周知を図った。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○入込観光客数が減少した原因は、西武ドームでの野球以外のイベント開催の減少や集計施設の減少によるものであった。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンターの利活用について基本計画の策定並びに用地の解体撤去の実施設計を行うとともに、施設整備等について準備を進める。</p> <p>○狭山丘陵の魅力を高めるため、散策用トイレの設置や案内板や道標の整備を進める。</p> <p>○様々な広域行政での取り組みを推進し、資源の価値を高め相乗効果により観光振興を図る。</p> <p>◆ 平成28年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○入込観光客の増加に向けて、観光資源の磨き上げを行うとともに、増減の原因を適切に把握し目標の指標としていく。</p>					
特に力を入れる事務事業	産業振興ビジョン策定事業	ロケーションサービス事業	外国人観光客受け入れ整備事		
評価日	H29.7.25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		

第5節	労働・雇用環境	地域で安心して働ける環境があり、充実した就労支援が受けられるまち			
基本方針	5-5-1 就労支援の充実				
	5-5-2 勤労者福祉の向上				
	5-5-3 労働環境の改善				
関係所属	産業振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成28年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		978人	42.8%	7位	1位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>○産業振興ビジョン策定委員会の開催、素案の作成、事業者向けアンケートや産業関連団体に対するヒアリング等を実施し、産業振興ビジョンの策定を進めた。</p> <p>○埼玉県とセカンドキャリアセンター所沢事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを36回開催し、997名が参加した。また、就職相談を233回実施し、917名が利用した。</p> <p>○国との一体的な取組みとして、ハローワーク所沢と共同で「若年者就労応援フェア」を4回開催し、若年者の就職を積極的に支援した。</p> <p>○中小企業の勤労者への福利厚生事業を推進するため、中小企業勤労者福祉サービスセンター（会員約1100名）の運営事業の支援を行った。</p>					
今後の方向性					
<p>○埼玉県とともにセカンドキャリアセンター所沢事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを行うとともに、就職相談を引き続き実施する。</p> <p>○国との一体的な取組みとしてハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者等の就職を支援する。</p> <p>○中小企業の勤労者への福利厚生事業を推進するため、中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営事業の支援を行う。</p> <p>○勤労者の福祉を向上させるため、ラーク所沢内の各種施設や事業を改善し、昨年度より利用者の増加を図る。</p>					
特に力を入れる事務事業	セカンドキャリアセンター所沢事業	就労チャレンジ支援事業	ラーク所沢運営事業		
評価日	H29. 7. 25	記入者職氏名	産業経済部次長 増田 謙二		